

# 健康福祉委員会資料

## (病院局関係)

### 1 所管事務の調査（報告）

#### (2) 川崎病院医療機能再編整備の工期の延伸について

資料1 川崎病院医療機能再編整備の工期の延伸について

参考資料 川崎病院医療機能再編整備について

病院局

令和3年7月29日

## 川崎病院医療機能再編整備の工期の延伸について

令和3年2月に延焼防止対策の検討に伴う設計期間の延伸、土壌汚染対策工事の追加に伴う施工期間の変更により、エネルギー棟・給水ポンプ棟の運用開始が基本計画と比べ約8か月遅れることを報告しました。

このたび、エネルギー棟の実施設設計が概ね完成し、全体工程が明らかになり、施工方法の見直し等により、エネルギー棟・給水ポンプ棟の運用開始とともに、救命救急センター棟・既存棟改修の工事着手も遅れることになりましたので御報告します。

### 1 延伸理由

#### (1) 事前工事要因（約3か月）

- ・土壌汚染対策工事等に伴う掘削工事に着手しましたが、病院の既存図面に無い埋設配管及び配線が複数発見され、慎重を期すため、一部手掘りによる掘削を行いました。
- ・エネルギー棟建築予定地の試掘調査の結果、新規杭打ちや山留矢板(やまどめやいた)の打設箇所に干渉する旧建物の埋設杭の引抜工事を行う必要が生じました。

#### (2) 建築要因（約3.5か月）

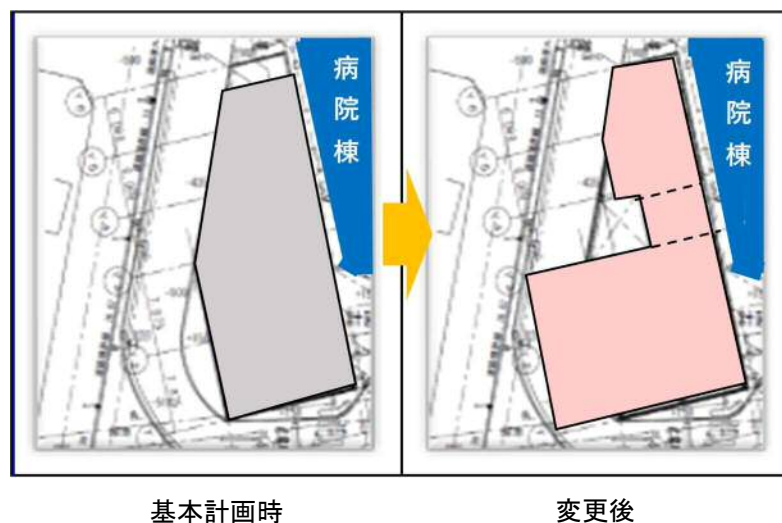
- ・延焼防止対策によるエネルギー棟の建物形状の変更により(下図参照)、施工方法が複雑化するとともに、次の項目が増加することから、作業量が増加しました。

建築面積（ $380\text{m}^2 \rightarrow 456\text{m}^2$ ）

杭の本数（15本 → 20本）

地下部分の掘削量（ $1,410\text{m}^3 \rightarrow 2,840\text{m}^3$ ）

図：建物形状の変更



## 2 スケジュール

年度		H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
エネルギー棟・ 給水ポンプ棟の 整備	現行	要求水準書 作成等 調査	公募	設計	施工						
	変更後	要求水準書 作成等 調査	公募	設計	施工			令和5年6月 運用開始 予定			
救命救急センター棟 新築・ 既存棟改修	現行	諸条件の確認 調査	契約 行為	基本・実施設計	契約 行為	新築棟建設工事	既存棟改修工事				
	変更後	諸条件の確認 調査	契約 行為	基本・実施設計	契約 行為	新築棟建設工事	既存棟改修工事				

- (1) エネルギー棟・給水ポンプ棟の運用開始時期が、約6.5か月遅れる予定となります。  
 (2) 救命救急センター棟新築・既存棟改修の工期についても、変更する必要があります。

## 3 追加事業費

今回の延伸に伴う追加費用につきましては次のとおりです。

- ・ 土壌汚染対策工事 約7,800万円
- ・ 埋設杭引抜工事 約4,100万円

また、延焼防止対策などに伴う建物全体の費用につきましては現在積算中です。

## 川崎病院医療機能再編整備について

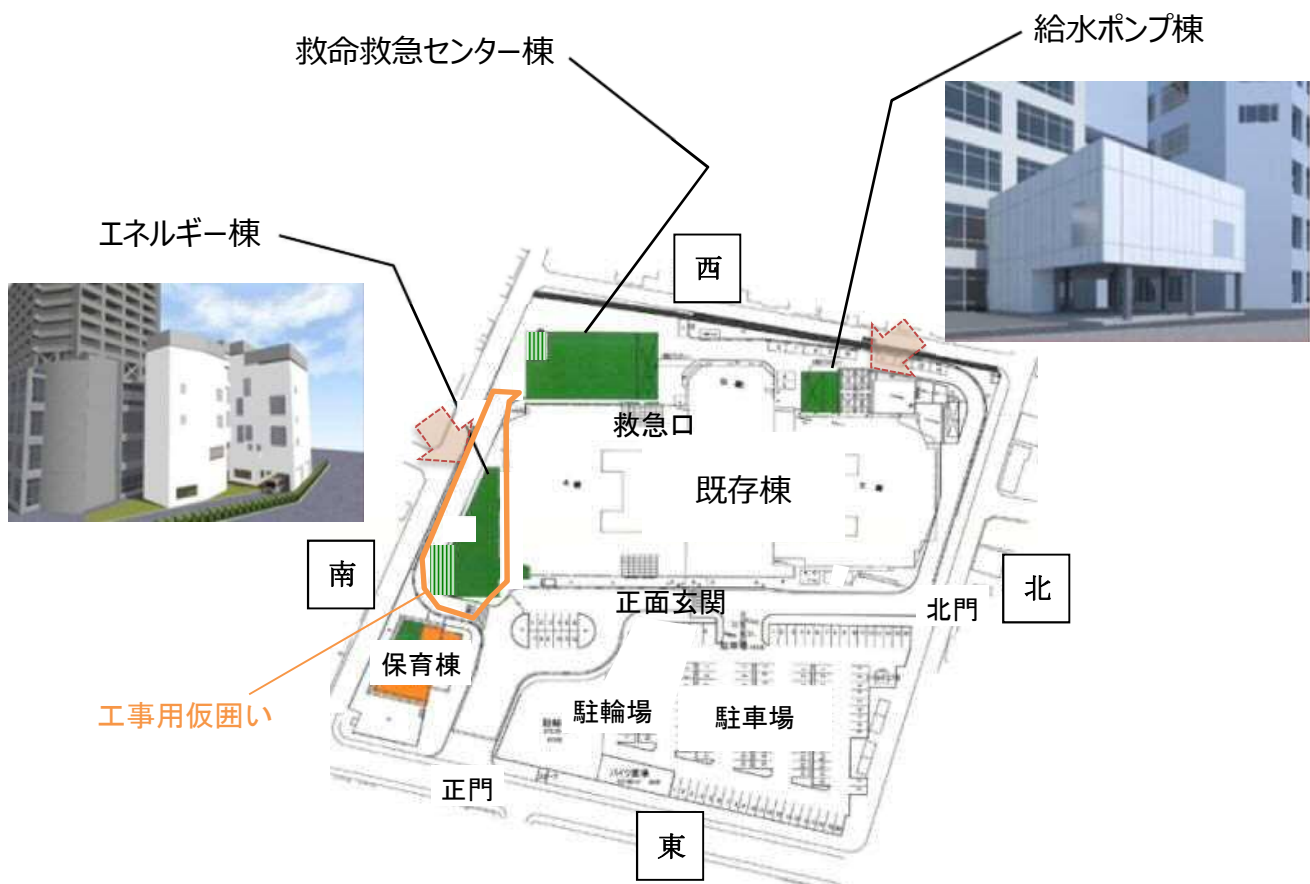
### 1 概要

市立川崎病院では、将来の医療需要に的確に対応するため、医療機能の拡充に必要なスペースの確保と既存棟内の狭隘化状態の解消を図るとともに、老朽化が進む施設・整備の更新、さらには浸水対策のために、平成30年3月に「川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本計画」を策定しました。

この基本計画において、新たにエネルギー棟や給水ポンプ棟を整備し、更新時期を迎えるエネルギー設備などを移設することにより、上記の既存棟が抱える課題を解決するとともに、救命救急センター棟の新築や既存棟の改修を行うことで、川崎病院全体の医療機能の再編整備の実現に向けた取組を明示しました。

この計画の実施に際し、エネルギー設備の更新には、効果的かつ効率的なエネルギーサービス事業の導入が最適なことから、省エネルギー技術など民間事業者の優れたノウハウを活用するため、民間事業者による整備・運営手法を選択し、エネルギーサービス事業者を公募・選定したのちに、令和元年11月に基本協定を締結したところです。

### 2 施設配置図とイメージ図



### 3 エネルギーサービス事業の概要

次の①～④の業務をエネルギーサービス事業者が実施することにより、エネルギーの安定供給、ライフサイクルコストの縮減、設備機器構成の最適化とそれに合わせた建物整備が可能となることから、事業費の軽減が図られるものです。また、運転開始後も光熱水費の負担を軽減し、イニシャルコストの回収を目指すものです。

- ① 建物（エネルギー棟、給水ポンプ棟）の設計・建設
- ② エネルギー設備（ボイラー、冷凍機（注1）、コージェネレーションシステム（注2）等）の設計（機器の選定・構成、機器や配管の配置）・整備
- ③ 日常の運転監視
- ④ 設備のメンテナンス（点検・修繕等）

（注1）冷凍機とは、空調において冷風を作る機器のこと

（注2）コージェネレーションシステムとは、中圧ガスを利用し発電と同時に発生した排熱も利用して、給湯、暖房等を行うエネルギー供給システムのこと

#### <川崎病院のエネルギーサービス事業のスキーム>

